

# 青 垣

第20号 発行日 平成21年1月14日

雲南市立吉田中学校だより

## 3学期のキーワード

# 自信・創造

～理想に向かい更なる一步を～

吉田中学校では、3学期の始業式を1月8日(水)に行いました。例年よりも3日長い冬休みでしたが、家庭での手伝いや勉強など、家族の一員としての役割や自分の目標を果たすことができたでしょうか。

今年1年が、生徒の皆さんにとって、有意義な1年になりますように願っています。

年頭に当たり何よりも嬉しかったことは、66名の生徒と14名の教職員が、みんな揃って元気に3学期のスタートを迎えることができたことです。

始業式では、3学期のキーワード“自信・創造”を発表し、一人一人がまとめの学期として充実したものになるよう動機付けをしました。

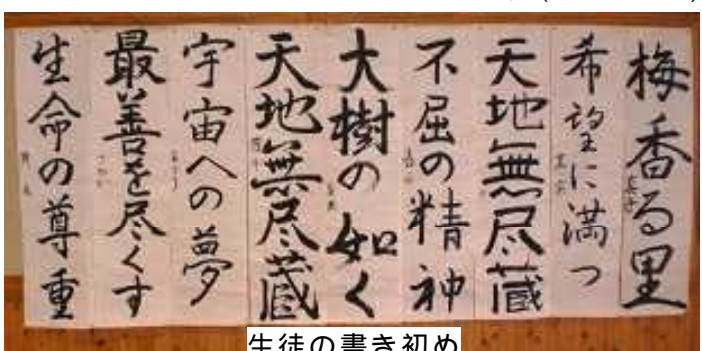
このキーワードは、全校生徒一人一人が、3学期にふさわしい「言葉」を用紙に書いて提出し、それを参考に決めたものです。

1年生では、感謝5名 協力3名 自信2名 努力2名 他には本気 反省 喜びなどがあり、4月には新入生を迎え、中堅学年となる自覚や心意気を感じ取ることができました。

2年生では、努力4名 感謝4名 行動2名 その他には笑顔 結果 挑戦などがあり、3年生になるんだ。最上級生として頑張ろうとする意欲を感じ取ることができました。

3年生では、達成5名 感謝4名 自信3名 前進3名 その他には向上 意欲 実現などがあり、自分の進路や受験への意気込み、そして次へのステップを感じ取ることができました。

全体では、感謝という言葉が圧倒的に多く、生徒達が自分の成長を、家族や地域の皆さんの「お陰」と感じ取っていることが伺えました。この「感謝」は、文化祭と感謝祭を実施した、2学期のキーワードに改めて採用することにしました。(感動・感謝)



生徒の書き初め

# 迎春

はつはるの  
およろこびを  
申し上げます

平成21年(2009)の新しい年が始まりました。地域の皆様や保護者の皆様には、新たな気持ちで新年を迎えられたことと存じます。

皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。

昨年は、ふるさと学習や部活動など、本校教育の推進につきまして、ご理解ご協力をいただき誠にありがとうございました。

吉中は、子どもは地域の宝を合い言葉に「ふるさとを愛し、心豊かで生き生きとたくましく生きる生徒の育成」をめざします。そして、全校生徒66名、一人一人の目標を実現するため、地域の皆様や保護者の皆様とともに、全教職員が一丸となり一層の努力をする所存です。

本年も変わりませず、ご支援ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

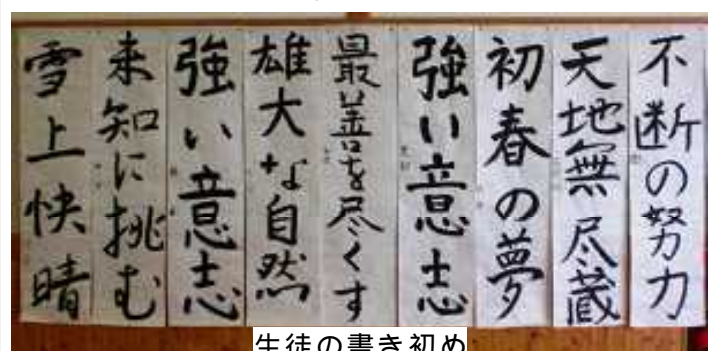
吉田中学校 職員一同



岡田さん、田部さんに生けていただきました。

そして、生徒たちから数多く寄せられた 達成 自信 協力 努力 前進の言葉を考えるとき、自分の能力を信じる力を、自分で自分のことを信じられるようにと『自信』という言葉。そして、新たな物事や考え方を生み出すようにと『創造』という言葉。を3学期のキーワードとして取り上げました。

生徒一人一人の努力により、不安から自信 そして達成へと。また、新たな自分を見いだしたり、全校生徒が団結して伝統を生み出すなど、更なる前進を期待するものです。まとめの3学期“自信・創造”が、生徒自身の活きたキーワードとなり、一人一人の素直な成長と、豊かな人間関係を構築する一助になればと願っています。



生徒の書き初め

## 生徒が語る 新年の抱負 目標は 自分を照らす ～「夢」なくして「達成」なし～

始業式の中で6名の生徒が、3学期に向けた抱負を堂々と発表しました。ここでは、2・3年生の3名の生徒の抱負を紹介します。

・ぼくの三学期頑張りたいことは三つあります。

一つめは、生徒会です。生徒会長として全校の生徒をまとめ、より良い生徒会にしていきたいと思えます。二つめは、部活動です。6月の雲南市飯南町総体で優勝出来るように、集中して練習をしていきたいです。三つ目は、勉強です。四月からは、受験生になるので早めから家庭学習や自主学習を充実させていきたいです。

・私の新年の抱負は二つあります。

一つめは、生徒会を引っ張って行くことです。私は、もう少しで三年生になります。生徒会などを引っ張って行く立場になったので頑張っていきたいです。二つめは、勉強をしっかりとすることです。三年生になると受験が近づいてくるので、これから自主学習や復習をしっかりとしていきたいです。この二つをしっかりと守って、三学期も充実した生活を送りたいです。

・私は、この三学期、勉強をしっかりとすること、思い出づくりをしたいと思えます。勉強では、受験に向けて最後まで気を抜かずに、復習をしていきたいです。それと同時に思い出もつくりたいです。この3学期は、最後の学期になるので、短い期間ですが楽しく過ごして、いい思い出を作りたいです。



抱負を発表する生徒



生徒会役員の任命



校長室には「有志者事竟成」と書かれた額が飾られています。この書の左隅には、昭和乙卯春 松露亭書と記してあり、昭和五十年(1975年)正月に田部長衛門(朋之)先生により書かれたものと知ることが出来ます。

この「有志者事竟成」(こころざしあるものはことついになる)は、後漢(中国)の光武帝が残した言葉で、「志あるものは必ず事を成す」という意味があります。

簡単に説明するなら「心に強く思い決めた理想や目標は、あきらめずに努力することにより必ず実現する」ということです。

## 県中学生バレーボール選抜優勝大会 (兼)中国新人大会島根県予選 “悲願”かなわず ～ 出雲地区・石見地区ベスト4が激突～

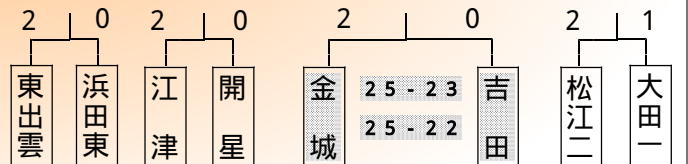
豪雪に見舞われた1月11日(日) 島根県中学生バレーボール大会選抜大会(兼)第5回中国中学校バレーボール新人大会 島根県予選が出雲市立平田中学校体育館を会場に開催されました。

昨年11月、出雲地区大会で20年ぶり2度目のベスト4に輝いた吉中バレー部は、悲願の中国大会出場をめざし、この大会に初出場をしました。

初戦の相手は、石見地区大会を制した強豪の金城中学校でした。金城中とは、昨年10月に練習試合で一度だけ対戦したことがあり、吉中のレシーブミスから敗退したことを覚えています。

試合が始まり1セット目、中盤まで金城中にリードを許し13対18、2度目のタイムアウト後、サービスエースや相手のミスで吉中がリズムをつかみ終盤に23対23、しかしながら最後は吉中のミスが重なり1セット目を落としました。2セット目も、中盤まで12対19と金城中にリードを許しましたが終盤21対22と激しく追いあげました。しかし、相手のサーブに揺さぶられ22対25でゲームセット。負けはしましたが、吉中の持てる力を充分に発揮した素晴らしい試合だったと高く評価をします。

### 決勝トーナメント進出チーム決定戦



出1 石3 石2 出3 石見1位 出雲3位 出2 石3  
1位 東出雲中 2位 松江二中 (中国大会に出場)

今大会は、試合前に故障者がでるなどベストの体制で戦うことは出来ませんでした。中国大会への出場を「夢」から「現実」へと、一歩も二歩も引き寄せてくれる試合でした。この経験は、6月の雲南市飯南町の大会、そして県大会で必ず生きるものと確信をしています。

バレー部の生徒の皆さん。今後も、出雲地区代表チームとして招待試合等が続きますが、誇りと自信を持ち試合に臨んでください。

保護者の皆様、豪雪を跳ね除けての応援、そして地域の皆様の声援に、生徒ともども厚くお礼を申し上げます。「ありがとうございました」

